

平成24年1月28日(土)

第80回北数教数学教育実践研究会レポート発表資料  
数学A「平面図形」の指導

北海道滝川高等学校 中西勝範

1 はじめに

現行学習指導要領「数学A」を”初めて”指導するに当たり、他の章との指導内容や性格の相違を改めて認識するとともに、「説明→演習(宿題)」の単調さから脱却した授業改善、数学における言語活動の実践、新課程数学における「課題学習」の位置付けなど、諸課題の解決に進むための一歩といたし、今回の取組を実践した。

生徒に数学の真の実力を付けるための参考となれば幸いである。

2 思考の過程を残す説明

①「角の二等分線(内角、外角)と比」、②「外心」、③「内心」、④「傍心」、⑤「重心」、⑥「チェバの定理」、⑦「メネラウスの定理」、⑧「垂心」の指導

下の写真のように、段ボールにほぼA3サイズの紙を貼ったものをマグネットで黒板に付け、思考の経過が分かるように(疑問を感じたら戻れるように)論理展開し、その後、パネルを左に固め、図を見ながら証明を完成させる形態とした。

生徒には、証明を始める前の図を多数コピーしたプリントを配付し、糊とはさみを用意するよう指示し、ノートを整理させた。



なお、⑦(パネルが不要なため)と⑧(パネルにするには大きくなり過ぎるため)については、ごく普通の証明を行った。

3 理解の定着と表現力を高める指導

日々の宿題や小テストでは、丸写しや丸暗記の可能性があることから、一人一人の理解の定着と表現力の向上を図るために、別紙のと通りの指導を実施した。

「2」の私の取組が生徒に通じていれば、生徒による証明に反映すると考えた。逆にならないことを祈って、・・・。

4 「してもらおう」証明の理解から、「教科書を理解し、説明できる」証明への指導

「3」の別紙と同時に提示し、このとおり実施した。

MEMO

1D「第4章 平面図形」の今後について

1D数学A教科担任

今後、次の二つのことを同時並行で行います。

- これまでの証明 (①②内角・外角の二等分線と辺の比、③内心、④外心、⑤垂心、⑥傍心、⑦重心、⑧チェバの定理) から一つを、昼休みまたは放課後、冬季休業中等に職員室に来て、証明を実演する。(1月24日まで)

※ どの定理を証明するかは、来たときに決まるので、全部を準備しておく。

※ 合格しなければやり直しとする。

- 授業では、各班が教科書の次の定理等を証明し、関連する問題を解説する。

※ 班が担当する番号は、抽選で決める。

番班	教科書	内 容	関連問題等
1 K	p 95	定理 $\triangle ABC$ において、 $AB > AC \Leftrightarrow \angle C > \angle B$	p.95 下の2行
2 C	p 96	定理 三角形の2辺の和は、他の1辺より長い。	p.96 例5、問15
3 F	p 102	定理 四角形が円に内接するとき、 ① 向かい合う内角の和は $180^\circ$ である。 ② 1つの内角は、それに向かい合う内角の外角に等しい。	p.102 問23
4 D	p 103	例題2 2つの円O、O' が点P、Qで交わっている。 Pを通る直線と円O、O'との交点をそれぞれA、A'とし、Qを通る直線と円O、O'との交点をそれぞれB、B'とするとき、 $AB \parallel A'B'$ である。	p.103 問24, 25
5 J	p 104	定理 次の①または②が成り立つ四角形は円に内接する。 ① 1組の向かい合う内角の和が $180^\circ$ である。 ② 1つの内角が、それに向かい合う内角の外角に等しい。	p.104 例7、問26
6 G	p 105	探究例題 鋭角三角形ABCの頂点Aから辺BC下ろした垂線をADとし、Dから辺AB、ACに下ろした垂線をそれぞれDE、DFとする。 このとき、四角形EBCFは円に内接する。	p.105 問27
7 M	p 106	定理 円外の点からその円に接線を引くとき、その点から2つの接点までの距離は等しい。	p.107 問28
8 E	p 107	例題 図のように $\angle C = 90^\circ$ の直角三角形ABCに円Oが内接している。内接円Oの半径をrとすると、 $r = (a + b + c)/2$ が成り立つ。	p.107 問29
9 A	p 108	定理 円の接線CTと接点Cを通る弦ACのつくる角は、この角内にある弧ACに対する円周角 $\angle ABC$ に等しい。	p.108 問30、 p.109 問31
10 I	p 109	例題 円の外部の点Pを通り、この円と点Aで接する直線lと、2点B、Cで交わる直線mがある。 $\angle APB$ の二等分線がAB、ACと交わる点をQ、Rとすれば、 $AQ = AR$ が成り立つ。	p.109 問32
11 L	p 110	定理 円の2つの弦AB、CDまたは、それらの延長が円内あるいは円外の点Pで交わるとき、 $PA \cdot PB = PC \cdot PD$	p.110 問33
12 H	p 111	定理 円の弦ABの延長上の点Pから、この円に引いた接線の接点をTとすると、 $PA \cdot PB = PT^2$	p.111 例題5
13 B	p 113	説明 2つの円の位置関係	p.114 例題6、 問37

★1 必ず全員の出番をつくること。

★2 プリントをつくり、点検を受けた後に修正・印刷・事前配付し、発表すること。

※ 点検は発表2日前、事前配付1日前とする。

★3 1時間に2～3班の発表を行うので、1班当たり15分以内で終わるように準備すること。

※ 発表番号に3、6を加えた項目を発表する班から代表が必ず質問すること。

(例：10番への質問は、13と3番に当たった班の代表)

★4 発表を聞くときは、評価シートに必要事項を記入し、授業ごとに提出すること。

★5 日ごろの宿題、小テストと同様に評価する(観点：理解度、説明の説得力、努力・工夫)。



# 数学A「平面図形」自己評価シート

1 年 D 組 班 氏名

【実施日時】

【証明等の内容】

## 1. 自己分析

(1) 分かりやすく話せましたか。

4. よくできた    3. できた方である    2. どちらかと言えはできなかった    1. できなかった

(2) 声の大きさはどうでしたか。

4. 十分大きく話せた    3. 小さい部分もあった    2. やや小さかった    1. 小さかった

(3) 視線はどうでしたか。

4. 相手をよく見て話した    3. 相手を見て話した  
2. 相手をあまり見ずに話した    1. 相手を見ずに話した

(4) 説明のための準備はどうでしたか。

4. 班で時間をかけて相談し、プリントや板書を工夫した  
3. プリントや板書は工夫したが、班での相談は十分ではなかった  
2. 班での相談も、プリントや板書の工夫も不十分であった

## 2 自分の班の発表について、「良かった点」「悪かった点・改善点」を書いてください。

(1) 「良かった点」

(2) 「悪かった点・改善点」

## 3 今回の発表の感想や反省を書いてください。

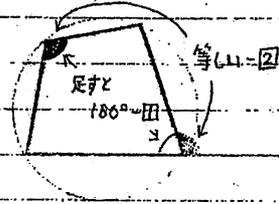
円に内接する四角形の性質

定理

四角形が円に内接するとき、

① 向かい合う内角の和は  $180^\circ$  である。

② 1つの内角は、それに向かい合う内角の外角に等しい。



〔証明〕 ①

円Oに内接する四角形を ABCD とする。

$\angle BAD = \alpha$ ,  $\angle BCD = \beta$  とおくと、

弧BCDにおいて、 $\angle BAD$ は円周角であるから、

円周角の定理より

弧BCDの中心角は  $2\alpha$

弧BADにおいても同様に

弧BADの中心角は  $2\beta$

∴ 1周の角度は  $360^\circ$  であるから

$$2\alpha + 2\beta = 360^\circ$$

$$2(\alpha + \beta) = 360^\circ$$

$$\alpha + \beta = 180^\circ$$

$\angle BAD = \alpha$ ,  $\angle BCD = \beta$  より

$$\angle BAD + \angle BCD = 180^\circ \quad \text{①}$$

$\angle BAD$  と  $\angle BCD$  は向かい合う内角である。

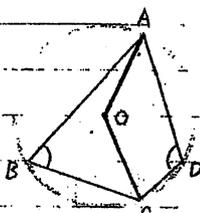
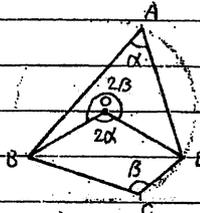
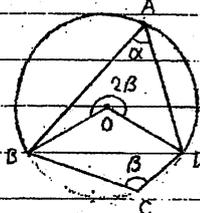
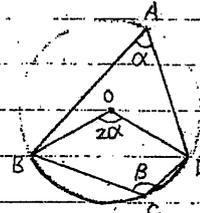
同様にして、

$\angle ABC + \angle ADC = 180^\circ$  も成り立つ。

$\angle ABC$  と  $\angle ADC$  は向かい合う内角である。

したがって、四角形が円に内接するとき、

向かい合う内角の和は  $180^\circ$  である。〔証明終わり〕



〔証明〕 ②

円Oに内接する四角形を ABCD とし、辺BCをCの方向にのびた直線をEとすると、

$\angle BCD$  と  $\angle DCE$  において一直線の角度は  $180^\circ$  であるから、

$$\angle BCD + \angle DCE = 180^\circ$$

$$\angle DCE = 180^\circ - \angle BCD$$

$$\text{①より } \angle BAD + \angle BCD = 180^\circ$$

$$\angle BAD = 180^\circ - \angle BCD$$

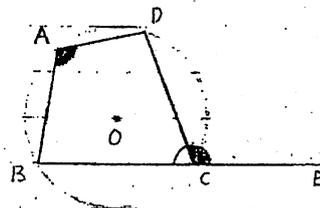
よって  $\angle DCE = \angle BAD$

$\angle DCE$  は  $\angle BAD$  の向かい合う内角の外角である。

その他の外角についても同様である。

したがって、四角形が円に内接するとき、

1つの内角は、それに向かい合う内角の外角に等しい。〔証明終わり〕



# 1年D組数A 平面図形

ABCD ABCD A° AB

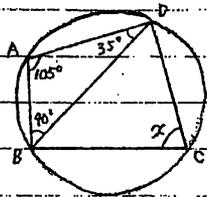
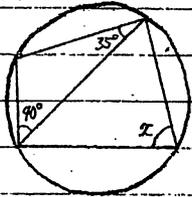
ABCD ABCD

出席番号	氏名	班	番号	発表日	相互評価 平均	理解度 評価	説明力 評価	努力 工夫	個別証明 実施日	個別証明 番号	理解度 評価	説得力 評価
		A										
		A										
		A										
		B										
		B										
		B										
		C										
		C										
		C										
		D										
		D										
		D										
		E										
		E										
		E										
		F										
		F										
		F										
		G										
		G										
		G										
		H										
		H										
		H										
		I										
		I										
		I										
		J										
		J										
		J										
		K										
		K										
		K										
		L										
		L										
		L										
		M										
		M										
		M										

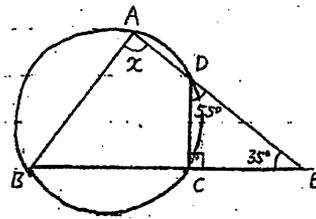
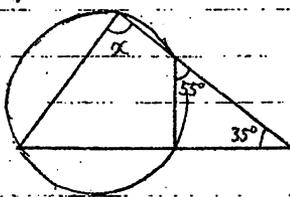
①②内角・外角の二等分線と辺の比、③内心、④外心、⑤垂心、⑥ 傍心、⑦重心、⑧チェバの定理)

問23 次の図において、角 $\alpha$ を求めよ。

(1)



(2)



(1) 円に内接する四角形をABCDとすると

$\triangle ABD$ において

三角形の内角の和は $180^\circ$ であるから

$$\angle BAD = 180^\circ - (\angle ABD + \angle ADB)$$

$$= 180^\circ - (40^\circ + 35^\circ)$$

$$= 180^\circ - 75^\circ$$

$$= 105^\circ$$

四角形が円に内接するとき、

向かい合う内角の和は $180^\circ$ であるから

$$\angle BCD = 180^\circ - \angle BAD$$

$$= 180^\circ - 105^\circ$$

$$= 75^\circ$$

したがって

$$\alpha = 75^\circ$$

(2) 円に内接する四角形をABCDとし、

辺ADをDの方向に、辺BCをCの方向にそれぞれのばした直線の交点をEとすると、

$\triangle CDE$ において

三角形の内角の和は $180^\circ$ であるから

$$\angle DCE = 180^\circ - (\angle CDE + \angle CED)$$

$$= 180^\circ - (55^\circ + 35^\circ)$$

$$= 180^\circ - 90^\circ$$

$$= 90^\circ$$

四角形が円に内接するとき、

1つの内角はそれに向かい合う内角の外角に等しいので

$$\angle BAD = \angle DCE = 90^\circ$$

したがって

$$\alpha = 90^\circ$$